

平成 29 年度の事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人アットマークリアスNPOサポートセンター

事業の成果

【助成及び委託事業】

(1) 復興まちづくりとその先を見据えた連携による支援体制の構築事業

地域を越えた民間連携とNPO等の基盤強化を果たすために《連携による支援》の基礎を構築する。そのことにより、被災地で様々な地域の課題解決に向け活動するNPO等の支援を円滑に行い、被災者一人ひとりの復興、地域の復興、の推進に資することを旨とする。

➤ 岩手沿岸中間支援ミーティング

(釜石市、大船渡市、陸前高田市の中間支援団体、岩手広域の中間支援団体)

- それぞれの活動エリア外のNPO等の活動状況や地域の復興情報が共有できた事で、地域内のNPOに他地域の現状やNPO等の情報を提供する事ができた。

➤ 連携による支援検討会

- 中間支援ミーティングで共有された地域NPO等の状況を踏まえ、地域で活動するNPOに必要なと思われるスキル習得の場を企画・検討し、実施する事が出来た。

2017年1月から月1回合計12回開催

- 支援センターのスタッフ向けスキルアップ研修の企画・検討さらに、支援センターのリーダー向けにミニ内部研修会を2017年2月～10月期間内に合計8回開催し、それぞれの支援センターの基盤強化を図った。

➤ 支援センター連携機能強化プロジェクト

- 合同で研修を行う事で、支援センターに必要な知識が共有できた。
- 業務マニュアルの共通化については、当法人・陸前高田まちづくり協働センターは共通化する事が出来た。大船渡市市民活動支援センターについては運営形態の違いによりすぐに共通化する事は難しい状況であるが、共通化が必要であるとの認識を得る事が出来た。
- 団体情報・相談事例のQ&Aを共有する事が出来た事で、各支援センターの相談対応に活かす事が出来た。

➤ 岩手県沿岸地域NPO勉強会・交流会

- 個人情報保護法改正によりNPO法人・市民活動団体・自治会等を対象とした

「改正個人情報保護法合同説明会」を開催

開催日時:2017年6月5日(月)13:30～16:00

会場 :大船渡市民文化会館リアスホール マルチスペース

講師 :個人情報保護委員会 事務局 上席政策調査員 石井 純一氏

内容 :改正個人情報保護法に関する説明、質疑応答

定員 :50名

主催 :NPO法人@リアスNPOサポートセンター、大船渡市市民活動支援センター  
NPO法人陸前高田まちづくり協働センター

参加者 :60名

参加地域 :岩手県釜石市・大槌町・大船渡市・陸前高田市・住田町・北上市  
宮城県気仙沼市

- 子ども支援交流会

開催日 :7月20日(木)9:00～17:00

場所 :陸前高田市で活動する団体訪問

・NPO法人パクト ・NPO法人きらりんきつず

## 1 前事業年度の事業報告書

・あしなが育英会 レインボーハウス陸前高田

主 催 : NPO 法人@リアス NPO サポートセンター

協 力 : NPO 法人陸前高田まちづくり協働センター

参加団体 : 母と子の虹の架け橋

内 容 : 釜石地域で子ども支援を行っている団体が陸前高田市で活動する団体の拠点を訪問し、活動状況について意見交換を行った。さらに、陸前高田子ども支援ネットワーク会議に参加し、釜石市と陸前高田市の子ども支援の現状について情報交換を行った。

- 岩手県沿岸地域から宮城県沿岸北部地域の NPO・行政・社会福祉法人等が被災地域の未来を考えるための「NPO フォーラム」を開催。

開 催 日 : 11 月 22 日(水)13:00 ~ 17:30

会 場 : 釜石市情報交流センター／釜石 PIT

内 容 : 地域の枠を超えた連携や協働による課題解決の仕組みづくりを考える

定 員 : 50 名

参 加 者 : 69 名

参加地域: 岩手県釜石市・大槌町・宮古市・大船渡市・陸前高田市・北上市

宮城県気仙沼市・石巻市・東京都・埼玉県

### (2) 東日本大震災被災 3 県の沿岸 NPO 支援組織のネットワーク化に向けた準備事業

東日本大震災において甚大な被害があった岩手県・宮城県・福島県の沿岸地域を中心に活動する NPO は、自ら組織の基盤強化を行うことにより、被災地の住民への支援の持続可能性を高める必要がある。そのため、NPO を対象にサポートする NPO 支援組織の強化及び地域を越えた連携を形にする。

#### ➤ 企画検討会の実施

- 本事業の目的・内容・実施体制等について検討会を実施。

週 1 回・・・9 回

#### ➤ 企画書作成

#### ➤ 広域連携による次年度事業に向け連携団体との打ち合わせ

月 2 回程度・・・5 回

### (3) 若者 UP サポート オフィス 東北 事務局 事業

#### ➤ 東北 6 県の中で、若者 UP プロジェクトに参加している団体が円滑に活動出来る様サポートを行う。

- 岩手県(3 団体)宮城県(3 団体)・福島県(1 団体)の団体訪問並びに電話・メール等によるサポート。

#### ➤ マインクラフトを活用した東北エリアのプログラム開発及び全国展開に向けた準備。

支援対象である若者は社会から少し距離のある方が多い傾向があり、そのため、就労を視野に入れる前にそもそも社会との距離を縮める必要があると捉えた。マインクラフトの特徴の一つが「特定の目的(ゴール)が存在しない」ということ。「自由に目的を設定できる」ため、講師が設定した目的に対して受講者が十人十色の手段を用いて取り組むことが出来る。そのため、目的を達成するための手段が想像しがたい受講者には、小さな目標を少しずつ達成させることで、最終的な目的を果し達成感、自己肯定感を体験することが出来る。

- テキスト及び動画作成

テキスト基礎編

### (4) 東京都による芸術文化を活用した被災地支援事業

#### ➤ 「記憶と記録のプロジェクト：ランドスケープ／まちの写真屋の写真論」

- 釜石市内の写真館から写真についてヒアリングしたものを纏めた。

## 1 前事業年度の事業報告書

- ▶ こども創作教室「ぐるぐるみっくす」 in かまいしこども園
  - 2017年5月16日(火) ぐるぐるの会①「活動に関する説明」
  - 2017年7月11日(火) ぐるぐるミックス①「帯がみあそび」
  - 2017年9月12日(火) ぐるぐるの会②「次回の活動に関する説明」
  - 2017年10月2日(月) ぐるぐるミックス②「ミルボーづくり」
  - 2017年10月3日(火) ぐるぐるミックス②「ミルボーの探検」
  - 2017年12月13日(水) ぐるぐるの会③「次回の活動に関する説明」
  - 2018年1月30日(火) ぐるぐるミックス③「盆栽あそび」
  - 2018年2月13日(火) ぐるぐるの会④「活動の振り返り・今後に向けて」

- ▶ とうほくのこよみのよぶね

平成30年3月11日(日)

開催場所：岩手県釜石市鶴住居町・宝来館・根浜海岸(大槌湾) 参加人数：300人

### (5) 生活再建移行期被災者支援連絡員事業

- ▶ 仮設住宅団地及び災害復興公営住宅巡回訪問

支援連絡員が仮設団地内を1日1回及び災害復興公営住宅を週2回巡回し、住民の在宅・不在確認(安否確認)、普段との違いが無いか、設備等各種破損が無いか確認した。

仮設住宅全域巡回回数 159,383回							
釜石	平田	甲子	小佐野	中妻	鶴住居	栗橋	唐丹
15,101回	22,017回	5,891回	28,843回	15,433回	55,309回	14,708回	2,081回
復興住宅全域巡回回数 78,761回							
釜石	平田	小佐野	中妻	鶴住居	唐丹		
32,429回	8,991回	1,949回	16,531回	13,237回	5,624回		

- ▶ 談話室・集会所の管理

談話室・集会所の鍵管理とスケジュールの管理を行った。

仮設住宅談話室イベント開催数 1,700回							
釜石	平田	甲子	小佐野	中妻	鶴住居	栗橋	唐丹
37回	162回	61回	571回	139回	494回	223回	13回

- ▶ 住民からの相談受付

- 仮設団地に居住する住民から各種相談を受け付け関係各所に繋ぎ、解決を図った。又、
- 現場での対応処置も行った。

## 1 前事業年度の事業報告書

<b>仮設住宅相談受付 470件</b>							
釜石	平田	甲子	小佐野	中妻	鶉住居	栗橋	唐丹
51件	84件	26件	64件	65件	111件	54件	15件
<b>復興住宅相談受付 117件</b>							
釜石	平田	小佐野	中妻	鶉住居	唐丹		
45件	8件	2件	17件	31件	14件		

### ▶ 仮設住宅の清掃等

- 談話室及び住宅敷地内の清掃・草刈り・除雪等については、適宜行い団地の環境美化に努めた。

### ▶ コールセンターへの入電

当法人内にコールセンターを設置し、仮設団地に関する問い合わせやイベントの予約等の電話を受け付けた。入電件数は下記の通りである。

#### **コールセンターへの入電数 1,202件**

問合せ	イベント関係	苦情	取次	その他
511件	301件	1件	89件	300件

### ▶ 仮設住宅空き室管理

<b>空室管理部屋数 111室</b>							
釜石	平田	甲子	小佐野	中妻	鶉住居	栗橋	唐丹
1室	61室	1室	11室	0室	27室	10室	0室

### ▶ 仮設間引越補助

<b>仮設住宅間引越し補助 16室</b>							
釜石	平田	甲子	小佐野	中妻	鶉住居	栗橋	唐丹
0回	2回	10回	4回	0回	0回	0回	0回

## (6) 熊本地震被災地支援事業

- ▶ 当法人が行ってきたICTを活用した被災地支援活動のノウハウの提供と、被災者支援活動を実施する団体間の情報共有体制の構築を支援した。

## (7) 土砂災害防止法基礎調査（住民意識調査）事業

- ▶ 住民説明会の資料印刷、準備及び説明会場での補助を行った。
  - 本年度は大槌町で1回開催した。

## 1 前事業年度の事業報告書

### 【自主事業】

#### (1) 復興カメラ情報発信事業

- ▶ ホームページ等による情報発信
  - F a c e b o o k で毎月2回程度更新した。
  - 写真パネル貸出

貸出期間	展示場所	内容
2017年8月30日～9月19日	浜松市役所1階市民ロビー	岩手復興写真展
2017年10月14日	浦和スタジアム2002	浦和レッズホームゲームイベント大榎PRブース
2017年10月23日～27日	大阪ガス本店	御堂筋（東北・九州）復興支援バザー
2018年1月13日～17日	こうべまちづくり会館ギャラリー	1.17×22ndの集い写真展
2018年3月3日～11日	盛岡市都南図書館	3.11東日本大震災資料展 復興へのみちすじ
2018年3月14日～19日	高島屋京都店	第7回大東北展
2018年3月12日～4月2日	釜石市民ホールギャラリー	プレオープンイベント

#### (2) イベント開催事業

- ▶ 仮設住宅等で「おちゃっこサロン」等のイベントを開催し孤立しがちな住民の繋がりのかきつけづくりの場所をつくる。

実施日	実施内容	実施場所	連携団体	参加人数
2017年4月22日	おちゃっこサロン	箱崎C仮設団地	全心連	5人
2017年6月24日	おちゃっこサロン	箱崎C仮設団地	全心連	6人
2018年7月22日	おちゃっこサロン	箱崎B・C仮設団地	岩手大学	11人
2017年8月26日	おちゃっこサロン	箱崎B・C仮設団地	全心連	9人
	おちゃっこサロン	野田集会所	岩手大学	18人
2017年11月11日	おちゃっこサロン	箱崎C仮設団地	全心連	5人
2017年11月18日	子育てフェス2017in大榎	城山公園体育館	tubomi	300人
2018年1月27日	おちゃっこサロン	野田中央仮設団地	岩手大学	2人
2018年2月17日	おちゃっこサロン	箱崎B・C仮設団地	岩手大学	6人

#### (3) 釜石市内高校生とのボランティア連携事業

- ▶ ボランティアに興味のある高校生に実際の活動を通じて社会貢献活動を学んでもらった。
  - 活動に向けて随時ミーティングを行った。
  - 「Meatup Kamaishi」・「釜石よいさ」にボランティアとして参加した。

# 1 前事業年度の事業報告書

## 1 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費 の金額 (千円)
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関する事業	復興まちづくりとその先 を見据えた連携による支 援体制の構築事業	平成 29 年 4 月 1 日～12 月 31 日	釜石市 内 他	2 人	市内NPO団 体等	4,624
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関する事業	東日本大震災被災3県の 沿岸NPO支援組織のネ ットワーク化に向けた準 備事業	平成 30 年 1 月 1 日～3 月 31 日	釜石市 内 他	2 人	市内NPO団 体等	1,144
地域を活性化させるため の人材(起業家)の育 成、支援に関する事業	若者UPサポートオフィ ス東北事務局事業	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	釜石市 内 他	2 人	市内NPO団 体等	3,412
住民の地域社会に対する NPO活動の支援に関する事業	東京都による芸術文化を 活用した被災地支援事業	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	釜石市 内	3 人	釜石市内の住 民等	2,003
行政団体・市民団体等の 業務受託に関する事業	生活再建移行期被災者支 援連絡員事業	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	釜石市 内	22 人	市内仮設住宅 団地及び復興 公営住宅の住 民等	70,217
まちづくりの調査研究事 業に関する事業	熊本地震被災地支援事業	平成 29 年 6 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	釜石市 及び熊 本市内	1 人	釜石市及び熊 本市内仮設住 宅団地及び復 興公営住宅の 住民等	588
まちづくりの調査研究事 業に関する事業	土砂災害防止法基礎調査 (住民意識調査) 事業	平成 29 年 2 月 1 日～平成 30 年 3 月 20 日	大槌町	3 人	大槌町内の住 民等	257
まちづくりに関する情報 収集、加工、発信に関す る事業	復興カメラ情報発信事業	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	釜石市 内	2 人	釜石市内の住 民等	—
前条の目的の達成のため に必要とされる事業	イベント開催事業	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	釜石市 内	2 人	釜石市内の住 民等	—
地域を活性化させるため の人材(起業家)の育 成、支援に関する事業	釜石市内高校生とのボラン ティア連携事業	平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日	釜石市 内	1 人	釜石市内の高 校生等	—
					事業費合計	82,245

### (2) その他の事業

実施しなかった。